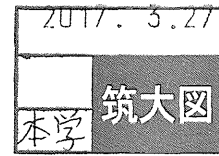


平成27年度



日本語教育実践研究論文集

平成28年2月

筑波大学大学院人文社会科学研究科
国 際 地 域 研 究 専 攻
日 本 語 教 師 養 成 プ ロ グ ラ ム

まえがき

本書は、平成 27 年度筑波大学大学院人文社会科学研究科の博士前期課程国際地域研究専攻における日本語教師養成プログラムの一環として実施した日本語教育実習の報告と実践研究論文を収めた論文集です。この日本語教師養成プログラムは、筑波大学の大学院修士課程地域研究研究科の時代から長く続いているものですが、平成 20 年度から大学院博士課程人文社会科学研究科のプログラムとして博士前期課程国際地域研究専攻の日本語教育研究コースに移ったのを機に、以前『日本語教育実習論文集』として発行していたものを『日本語教育実践研究論文集』に改め、発行を重ねてきました。そして、同研究科の改組により、平成 27 年度から博士後期課程の国際日本研究専攻に、博士前期課程「日本語教育学学位プログラム」が新たに加わることとなり、日本語教師養成プログラムが引き継がれることになりました。したがって、今年度の論文集は、国際地域研究専攻の日本語教育研究コース修了生による最後の論文集ということになります。同コースの院生 13 名と、他コース・他専攻の院生 3 名、計 16 名が実習に参加しました。実習は、「日本語教育実践研究 I」と「日本語教育実践研究 II」とに分けて実施され、前者は他コース・他専攻の院生たちも含めて全員が履修しますが、後者は日本語教育研究コースの院生専用の科目となっています。

「日本語教育実践研究 I」は、留学生センターで実施された初級の日本語コースから中上級の技能別日本語クラスにいたるまでの様々な日本語クラスの中から実習生が 1 クラスを選択し、1 年次秋学期の 15 週間、週 1 回、担当教員の授業に入って教育現場を見学しながら、クラスの準備、クラス活動の手伝い、クイズや宿題のチェックなどの一連の教授活動に参加するものです。クラスのレベルによっては、実習生が実際に教壇に立つ場合もありますが、経験を積んだ教師について様々なレベル、様々な技能のクラスにおける教育方法を学べるところにその特色があります。

「日本語教育実践研究 II」は、2 年次の春学期に、本学に在学する外国人留学生だけでなく外国人研究者やその家族などを対象に広く受講希望者を募って、初級レベルの日本語クラスを実習用に開講するものです。受講生の募集から教案・教材作り、1 ヶ月半にわたる実習授業の実践、授業参観、実習授業後の授業ビデオ分析と考察、報告論文の執筆までといった一連の教育・研究活動を実習生たちが自律的に行います。日本語・日本文化学類の学生たちと合同で実習を行うため、実際にクラスで教える活動だけでなく、カリキュラム作りからコース運営までをチームで実施するところにその特色があります。

本書には、この 2 種類の教育実習を通して実習生たちが学び、研究した成果、および 2 年間の日本語教育研究コースにおける成果がまとめられています。本書の構成は、第一部に「日本語教育実践研究 I」の実習の成果、第二部に「日本語教育実践研究 II」の概要とその成果が報告されています。そして、最後の論文集には、担当教員の査読を経て選ばれた実践研究論文が掲載されています。

本書が日本語教育の実践と研究に役立つ内容であることを願うとともに、本プログラムのさらなる改善のために、皆様からのご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

平成 28 年 2 月

筑波大学大学院人文社会科学研究科

加 納 千恵子

酒 井 たか子

一 二 三 朋 子

松 崎 寛

目次

まえがき

第一部 日本語教育実践研究Ⅰ

集中日本語 D クラスにおける実習報告 (1)	呉 佩珣	1
集中日本語 D クラスにおける実習報告 (2)	大石 茜	3
集中日本語 A クラスにおける実習報告	Fukushi Jaqueline	5
初級日本語 J200 における実習報告	呉 逸馨	7
中級入門日本語読む書く J470 クラスにおける実習報告 (1)	胡 盼盼	9
中級入門日本語読む書く J470 クラスにおける実習報告 (2)	曹 瑩	11
「上級日本語書く J850」における実習報告	駒居 幸	13
日本語初級漢字後期「漢字 4」における実習報告	方 的中	15
中級漢字中期 K600-1 クラスにおける実習報告	Sagung Diah Nagisa Utari	17
日本語中級「漢字 6」クラスにおける実習報告	馬 文甜	19
上級漢字クラス「漢字 8」における実習報告	馬 健	21
総合日本語 2 における実習報告	周 暢	23
総合日本語 3 における実習報告	沈 梅玲	25
G30 日本語 1 における実習報告 (1)	姜 虹宇	27
G30 日本語 1 における実習報告 (2)	萩原 宥子	29
G30 日本語 1 における実習報告 (3)	屋名池 明	31

第二部 日本語教育実践研究Ⅱ

平成 27 年度日本語教育実践研究Ⅱ実践概要	屋名池 明	33
----------------------------------	-----------------	----

〔論文集〕

学習者とのラポールの構築

—休み時間のやりとりを通して—	萩原 宥子	45
---------------------------	-----------------	----

やさしい日本語の可能性

—つくば市の在日ブラジル人のケース—	Fukushi Jaqueline	65
------------------------------	-----------------------------	----

日本語の漢字語彙教育における文脈化指導の方法	方 的中	73
----------------------------------	----------------	----

4 コマ漫画を用いた作文課題

—初級学習者の作文教育の一例として—	大石 茜	80
------------------------------	----------------	----

執筆者

平成 27 年度 筑波大学大学院 人文社会科学研究科

萩原 宥子	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
屋名池 明	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
姜 虹宇	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
呉 逸馨	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
呉 珮珣	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
胡 盼盼	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
Sagung Diah Nagisa Utari	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
周 暢	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
曹 瑩	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
沈 梅玲	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
方 的中	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
馬 健	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
Fukushi Jaqueline	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
馬 文甜	(国際地域研究専攻・日本社会コース)
大石 茜	(現代語・現代文化専攻)
駒居 幸	(現代語・現代文化専攻)

「日本語教育実習研究Ⅰ」：担当委員

今井 新悟	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
小野 正樹	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
加納 千恵子	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
木戸 光子	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
酒井 たか子	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
関崎 博紀	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
ブッシュネル ケード	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
許 明子	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)
李 在鎬	(人文社会系・国際日本研究専攻・留学生センター)

「日本語教育実践研究Ⅱ」：担当委員

一二三 朋子	(人文社会系・文芸・言語専攻)
松崎 寛	(人文社会系・文芸・言語専攻)
小野 正樹	(人文社会系・国際日本研究専攻)

編集委員

加納 千恵子	(人文社会系・国際日本語研究専攻・留学生センター)
酒井 たか子	(人文社会系・国際日本語研究専攻・留学生センター)
一二三 朋子	(人文社会系・文芸・言語専攻)
松崎 寛	(人文社会系・文芸・言語専攻)

編集スタッフ

萩原 宥子	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
屋名池 明	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
曹 瑩	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)
呉 佩珣	(国際地域研究専攻・日本語教育研究コース)

平成 27 年度 日本語教育実践研究論文集

2016 年 2 月発行

発行者 〒305-8751 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院 人文社会科学研究科

国際地域研究専攻 日本語教師養成プログラム

印刷 〒305-0836 茨城県つくば市山中 152-4

前田印刷株式会社筑波支店